

**第3回豊岡市農業ビジョン策定検討委員会  
会議録要旨**

<b>日時</b>	平成31年3月8日（金）13:15～16:00
<b>場所</b>	豊岡市役所 3階 庁議室
<b>出席者</b>	<p>委員： 荘林委員長、綿田委員、木村委員、中野委員、霜倉委員、植田委員 吉見委員、田中委員、田端委員、谷垣委員（名簿順）</p> <p>&lt;欠席者&gt;平峰副委員長、尾藤委員、小谷委員</p> <p>事務局：豊岡市；水嶋部長、石田課長、川端参事、山本係長、沖中 受託事業者（(株)地域計画建築研究所（アルパック））；原田</p>
<b>次第</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 委嘱状の交付</li> <li>4. 自己紹介</li> <li>5. 報告事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前回委員会のふりかえり</li> <li>(2) 庁内WGの開催について</li> </ol> </li> <li>6. 協議事項 豊岡市農業ビジョン骨子（案）について</li> <li>7. その他</li> <li>8. 閉会</li> </ol>
<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. あいさつ</b> （水嶋部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長から以下のように意見をもらっている。</li> <li>・今後の農業は、ICT、AIは必須条件とはなるが、人がいない農業はどこ地域でも一緒になってしまう。豊岡は他の地域とは違う農業にする必要がある。自然環境、生き物がいっぱいのビジョンにするように。</li> </ul> <p><b>3. 委嘱状の交付</b></p> <p><b>4. 自己紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい委員として田中委員を委嘱。</li> </ul> <p><b>5. 報告事項</b></p> <p>(1) 前回委員会のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルパックより、前回委員会の協議内容のふりかえりを行った。</li> </ul> <p>(2) 庁内WGの開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡市より、庁内WGの結果報告を行った。</li> </ul> <p><b>6. 協議事項；豊岡市農業ビジョン骨子（案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭にアルパックより、農業ビジョン骨子（案）について、資料3をもとに説明した。次に、委員から各地域についての意見を出し合った。</li> </ul>	

### ■第3章 豊岡農業の将来ビジョンについて

(委員長)

- ・GAPは、農家としてのよい農業を規定するものであるが、今回提案している「グッドローカル農業」は農家だけではなく、地域全体、市全体にとってよい農業であり、この地域にとっての価値観を外に向けても表明するものである。他にないユニークなもの。

(委員)

- ・「世界にオープン」という考え方はよいが、外向きに一方的にオープンだけではなく、外部の人が消費で支えるなど「双方向のオープン」がよいのではないか。

(委員長)

- ・農業が「あこがれの仕事」という考え方もよい。

(委員)

- ・こうした基準的なもので、なつてほしくないパターンは、基準が厳しすぎたり、偏っていると、それから漏れてしまうものが多くなり、現状と合わなくなり、使えなくなる場合がある。したがって、がちがちの基準ではなく、共有できる価値観にとどめてほしい。
- ・世界にオープンといった場合、世界のどこということも、実務レベルでは考えていった方がよい。

(委員)

- ・グッドローカル農業の見せ方について、ばらばらと列挙されているイメージなので、「幸せ」というコンセプトから入り、それが環境、社会、経済に分かれ、13項目につながっていく方がわかりやすいのではないか。見せ方をもう少し工夫してはどうか。

(委員)

- ・グッドローカル農業の項目は、真・善・美の概念にも適合しており、納得できる。

(委員)

- ・グッドローカル農業の13項目を例示として捉えて、将来ビジョンを考えていったらよい。

(委員)

- ・将来ビジョンは「共鳴」という言葉がよいが、ビジョンよりも具体的な取組の検討に時間を使いたい。

(委員長)

- ・今回のビジョン策定の方法は、バックキャスト型である。現状から発想するのではなく、実現可能性だけにとらわれずに将来のありたい姿を想定し、その実現のためにどうするかをビジョンとして整理するイメージであり、その意味で、将来ビジョンの部分は重要。

(委員)

- ・覚えやすい言葉がよいのでC案かD案がよい。

(委員)

- ・農業ビジョンには、グッドローカル農業の絵で「農業の円」が小さいのは気になる。

(委員)

- ・JAたじまでは、昨日、SDGSの研修会を行い、農家も含めて参加した。そこでは、かなり積極的に農家も意見を出し、例えば、将来の姿について、明るい未来、若者がいる農業、きれいな里

山があるなどのキーワードも見られた。今回のビジョンのあり方と通じるものがある。

(委員長)

- ・グッドローカル農業は、厳しい基準を定めるものではなく、理念を共有するもの、将来像には副題はつけるということで確認する。

#### ■第4章 戦略と取組方策について

(委員)

- ・現状ではめざす姿を地域で共有できていないし、地域にはリーダーがないことが問題である。もっと地域ごとに議論することが大切で、その議論する場をつくることを位置づけてほしい。

(委員長)

- ・地域ごとに経営体のイメージが違うので、地域ごとのあり方については第5章の地域別の方向性で書いたらどうか。第4章はアンブレラの役割ではないか。
- ・また、既存の農政の体系で対応できることとできないことがあり、できないことは新たに提案することになる。

(事務局)

- ・第4章はアンブレラの役割もあるが、どちらかというと、市全体で取り組むこと、地域のことであっても重要なことを位置づけることも役割である。
- ・逆に第5章の地域別の方向性ではあまり細かいことや具体的なことが書けない。

(委員)

- ・豊岡農業経営塾はぜひやるべき。知人がニューヨークで野菜について語りながら食べてもらうレストランに関わっているが、かなりの料金がするが、材料原価は安く大きな付加価値をつける工夫をしている。こうしたことも経営塾として重要な役割。

(委員)

- ・これまでの支援メニューでは、新規就農者用、その後のステップアップごとの支援などきめ細かく対応してきている。
- ・豊岡市がめざす強い農業者の姿をもっと具体的に示したらどうか。

(委員長)

- ・これまでの農業ビジョンでは、農家の水稻や野菜・果樹など作型も含む農業経営モデルを示しその実現に向けて支援などを位置づけていたものもあるが、農業以外の産業のビジョンではそんなことはしない。農業側も今までのあり方でよいのかも一度考えてみてほしいかとも思う。
- ・農業経営塾は、新たに塾をつくるのがよいのか、既存のものを使うのがよいのかどちらがよいでしょうか。

(委員)

- ・豊岡の農業者は、例えば、甲子園の常連組が残っているような上手な経営者だと思う。
- ・今度、神戸のホテルオークラで豊岡の食材で、豊岡の料理人によって豊岡の料理を食べてもらう催しをする。

(事務局)

- ・豊岡の農家ヒアリングの中では、豊岡の中心的農家が塾長になり、豊岡に合った農業経営者を育てる農業経営塾が必要だという声が大きかった。ターゲットは、中堅を経営者に育てる塾である。

(委員)

- ・JAとして農家の話を聞いていると、人を動かすマネジメントに悩んでいる人が多い。集落営農の強化も大切であるが、設立後の運営が重要で、その実務マネジメントで悩んでいる人が多い。そのマネジメントを塾で学べるようにしたい。

(委員)

- ・今の若い農家は外に出ないのが問題である。私は外を見にいった、そこで相手とコミュニケーションして、情報をもらってきた。
- ・自分から出ていく人材が大切で、そのきっかけづくりをしてはどうか。単独で事業を起こすことを支援する。単独でやろうと思えば、類似の取組から学ぶ必要がある、そうすると外に出て行って、人の話を聞いて、自分で考える習慣がつく。
- ・戦略4に豊岡の価値を高めるとあるが、人の価値を高める方策も重要ではないか。

(委員長)

- ・ビジョンにおける、農業政策における行政の役割は何かをもう一度整理する必要がある。しくみづくりなのか、きっかけづくりなのか。
- ・これまで農政は直接的に育てるのが好きであったが、これからもそれでよいのか考える必要がある。

(水嶋部長)

- ・行政としては、自立してもらおうための方策が重要であり、今回のビジョンはそこを考えたい。

(委員長)

- ・戦略1～3については概ね農家自身のことであるが、戦略4～6については農業と連携して成果を上げるものなので、行政が支援することが主になるのか。
- ・防衛政策は防衛関係の市場が成立しないので、政府が莫大な予算をかけて事業を行っている。農政の市場が成立しない部分については、行政の役割があるのではないか。
- ・戦略の順番や戦略間の関係性を考える必要がある。順番については、よく農業から発想するが、川下や出口から並べるという方法もある。
- ・最終的には国、県、市などの役割分担の明示も必要。
- ・基盤整備の話が少ない印象であるがどうするかを考えてほしい。

## 7. その他

- ・次回委員会については年度が変わり、5月か6月の開催を予定している。

## 6. 閉会